



西村証券

チーフストラテジスト  
門司総一郎の

# ウィークリーレポート

2022年  
6月3日  
発行

## 第135回 「岸田内閣が『新しい資本主義』案を発表」

### ～貯蓄から投資へ資金移動を促す～

#### 初めに

岸田内閣が「新しい資本主義」の実行計画案を公表しました。首相就任当初、新しい資本主義については成長と分配の両方を重視するという説明だったと思いますが、この計画案をみると分配よりも成長を重視したような印象です。NISAやiDeCoの拡充、年末までに資産所得倍増プランを策定することなどを盛り込んでおり、株式市場にとっては望ましいものといえるでしょう。今回は、この岸田内閣の新しい資本主義についてお話しします。（なお、当レポートは6月1日付けの日本経済新聞と読売新聞に基づき作成しています）

#### 岸田首相の変貌

今回の発表をみて、岸田首相の変貌に驚いた方も多かったのではないのでしょうか。従来に比べると分配重視が影を潜め、その分、成長重視になったという印象です。特に、株式市場に関しては、「貯蓄から投資へ」を支援するような制度改正が今後打ち出されることが発表されました。内容は、iDeCoでは加入年齢引き上げ、NISAでは株式購入枠の引き上げや期間延長などが検討される見込みです。こうした措置は、株式市場に歓迎されて「貯蓄から投資へ」の実現に近づくことになると期待できそうです。

#### グリーントランスフォーメーション

脱炭素社会の実現に向け、企業の設備投資を支援する新たな国債「GX（グリーントランスフォーメーション）経済移行債」の新設なども盛り込まれました。また、就任当初は四半期開示の厳格化などで市場関係者とかみ合わないところもありましたが、今回の発表では決算短信への一本化など市場への配慮がうかがえます。

#### 防衛予算の大幅増

ハト派のイメージがある岸田首相ですが、ウクライナ戦争や中国の脅威、更に核やミサイルの実験を繰り返す北朝鮮の存在などから、今回、防衛費の増額を表明しました。GDPの2%以上が目標と自民党内ではいわれています。

#### スタートアップ育成は慎重に

今回発表された施策の中で、自分が「どうか？」と思うのは新興企業の育成です。ここ数年、世界的な金利低下を背景に新興企業の立ち上げがブームとなり、「スタートアップ」「ユニコーン」などの言葉がよく聞かれるようになりました。しかし、最近では世界的な金融引き締めによって、そうした企業の多くは苦しんでおり、新興企業バブル崩壊の様相を呈しています。自分は、今の段階でスタートアップ育成を企画してもうまくいかないと考えています。この項目は再考すべきと思います。

（裏面へつづく）



チーフストラテジスト  
門司さんにきいてみよう!



西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES Co., Ltd.  
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)  
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号  
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業  
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等はご遠慮ください。

## 岸田首相に期待

新型コロナに地政学リスク、インフレなど発足以来様々な課題に直面した岸田内閣ですが、ここまで何とか難局を乗り切ってきました。今後も簡単な道ではないと思いますが、岸田首相に期待します。



チーフストラテジスト  
門司さんにきいてみよう!

